

じめ、大粒のシミがたくさんいたものでした。それが今激減。ひとたび大雨が降れば黄色い流れはようこじて遡ります、石のコケには泥がのり、それをアユがこすり食べるゆえに泥臭いのである。

私たちより良い生活と便利さを求めて「森は海の森へ」に反し、山を川をいじり

(宮崎市)

すぎて昔からの清流と資源を

清流の耳川に失い、はては母なる海までも取り組み願う。

泥を堆積させていけるのです。

自営業 畑瀬 幹夫 63歳
耳川は平家ロマンの椎葉をついています。地、田舎で清流とし、神武天皇船出の流なくして何の體力がありませ

地、美々津にそそぎ、旧東郷 しょうか。

小学校歌の一節にあつた「清流の美々津川」である。たる取り組みを願うところでしかし、近年この川は県北最下位ではと思うほど汚れていく。

昭和40年代までの耳川は水量豊かでアユ、ウナギをは

自治体の根本的な長期にわたり取り組みを願うところです。美々津の懸念延々と、海水を豊かにし塩素の少ないおいしい水とあのスクカの匂いのするアユ躍る耳川に。

(日向市)